

石田内閣府副大臣のカナダ・米国出張

平成24年4月6日

内閣官房

4月1日（日）から6日（金）まで、石田内閣府副大臣は、TPP交渉等に関する意見交換のため、カナダ及び米国を訪問したところ、その結果概要は以下のとおりです。

1. カナダでは、ケディ国際貿易大臣政務官、リッツ農業大臣他政府関係者、また、国会議員及び業界団体関係者と意見交換を行いました。また、ファスト国際貿易大臣にもワシントンで表敬しました。
2. 米国では、マランティスUSSTR次席通商代表、ホーマッツ国務次官、その他、有識者、業界団体関係者等と意見交換を行いました。
3. 各意見交換の場においては、TPPに関して我が方から、我が国で実施されている地域シンポジウム等の国内での議論の状況、交渉参加に向けた関係各国との協議の状況を説明し、先方からは、それぞれの国内の状況、各団体においては、それぞれの関心事項等について説明がありました。また、米国については、TPP交渉の現状についての説明もありました。
4. なお、TPP交渉参加に向けた米国との協議については、外交ルートで調整していくことを改めて確認しました。

（了）

本件問い合わせ先：

内閣官房副長官補付／国家戦略室

参事官補佐

島田 謙治

電話：3581-9239（直通）

石田内閣府副大臣のカナダ・米国出張
(意見交換結果概要)

平成24年4月
内閣官房

4月1日(日)から6日(金)まで、石田内閣府副大臣は、TPP交渉等に関する意見交換のため、カナダ及び米国を訪問したところ、カナダ及び米国での意見交換の結果概要は以下のとおり。

1. カナダ

ファスト国際貿易大臣、リッツ農業大臣他政府関係者、また、国会議員及び業界団体関係者と意見交換を行った。カナダ側との意見交換の結果概要は、以下のとおり。

- カナダは、仮にTPP交渉入りした場合には、供給管理制度(注)の対象品目も含め全ての品目をテーブルの上にのせて交渉する用意はあるが、交渉入りする前に条件等について交渉は行わないとの立場であった。
- ISDSについてカナダ側は、特段懸念を有していない様子であり、むしろカナダ企業の海外投資保護の意味でもISDSは重要であるといった説明があった。
- また、日カナダEPA交渉の促進について期待が寄せられた。

(注) 供給管理制度：国内での生産割当と輸入に関する関税割当で国内産品を保護する制度。鶏肉、鶏卵、加工原料乳、七面鳥肉等を対象。

2. 米国

マランティスUSTR次席通商代表、ホームッツ国務次官、その他、有識者、業界団体関係者等と意見交換を行った。

- 混合診療や単純労働者の受け入れ、資格の相互承認等について一切求めることはないという点について、改めて明言があった。
- 自動車及び保険等の個別論点について議会や利害関係者が強い関心を有しているとの説明があった。
- 特に保険については、郵政民営化法改正法案についての懸念が業界団体等から表明され、自分からは法案の概要について説明を行った。

(以上)